

群馬県高崎市の養豚場で CSFが発生！（国内59例目）

【飼養状況】 5,390頭

【発生の経緯】

9月25日（金）：群馬県は、9月上旬から飼養豚の下痢、死亡が見られた養豚場に、家畜防疫員による立入検査、病性鑑定を実施。

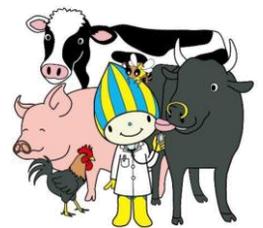
9月26日（土）：農研機構動物衛生研究部門による遺伝子解析の結果、CSFの患畜であると確定。
21時、防疫措置開始。

【周辺農場について】

移動制限区域（3km圏内）：養豚場なし

搬出制限区域（10km圏内）：18農場
（ワクチン接種済のため制限なし）

- ・適切なCSFワクチン接種（40～60日齢）
- ・ウイルスの侵入防止対策（野生動物対策も！）
- ・豚の導入計画書の事前提出 をお願いします。



自分の農場を守るため 飼養衛生管理基準の遵守を！

- ①消毒及び衛生管理区域への病原体の持込み防止、車両消毒の徹底！
- ②毎日の健康観察 ⇒ 早期発見と早期届出
- ③飼養管理の記録と保管

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所 TEL 0573-26-1111 ,FAX 0573-25-7669